

# (社)日本詩人クラブ 2018年 11月 例会のご案内

日時 2018年11月10日(土) 14時～17時

会費500円(会員・会友も)

会場 早稲田奉仕園 リバティホール

\*例会終了後、交流会を予定(サイゼリヤ) 会費3,000円

詩朗読 & スピーチ 竹村 啓氏 (世田谷区)  
上原和恵氏 (佐賀市)

酒木裕次郎氏 (取手市)

## 講演「賢治の歌とリズムについて」

講師 中村節也氏

### ★中村 節也 (なかむら せつや) 氏楽歴

1928年東京生まれ、小西市朗にヴァイオリンを師事、弘田龍太郎、貴島清彦の両氏に作曲を、津川圭一氏に合唱理論を師事。少年期より天体観測に熱中し、星の研究者野尻抱影氏に私淑し、のちに星の弟子に許される。観測は現在も趣味のひとつ。戦時中「宮沢賢治名作選」を読み感動する。コンセル・エフ歌曲入選、音楽之友社童謡賞、第31回日本音楽コンクール作曲部門第1位、文化庁舞台創作芸術賞を受賞、九州ギター現代音楽祭優秀賞(2回受賞)など、NHK教育番組「マイクの旅」音楽担当、幼児番組など。宮沢賢治に関する研究(音楽、天文、宗教)をつづけ、論文を発表する。花巻市主催「風のセミナー」の講師として数年間花巻の中学校を回る。主要作品:「三好達治による三つの歌」「会津八一による五つの歌」「弦楽四重奏曲」独奏尺八と男声合唱のための「行乞記」(種田山頭火句集より)「弦楽のために一鹿踊幻想」 箏組歌「藤娘」(松本はつ子作歌)「鹿踊りのはじまり」スライドと邦楽合奏のコラボレーション、混声合唱組曲 口語訳による「讃傷鈔」(伊藤比呂美作詩) 神楽舞一具「謡と踏」(アメノウズメとサルタヒコ) ほか編曲多数。

著作:『宮沢賢治歌曲全集』『宮沢賢治の宇宙音感』

所属団体: 宮沢賢治学会ほか、1990年以降は作曲塾(木菟舎)を開講する。

### 演奏担当者

★市毛あかね(声楽) 桐朋学園大学声楽専攻卒業。同大学大学院在学。卒業演奏会に選抜される。オペラやコンサートの他に、BS-TBS「日本名曲アルバム」に出演。声楽を半田美和子、ピアノを久保田普美、小澤英世の各氏に師事。

★根本礼(フルート) 桐朋学園大学フルート専攻卒業。同大学研究科修了。仙台フルートコンクール入選。フランスにてミュージカルブ夏期国際音楽アカデミー2015に参加。NPO法人若手演奏家協会副理事として演奏活動や指導活動を行う。

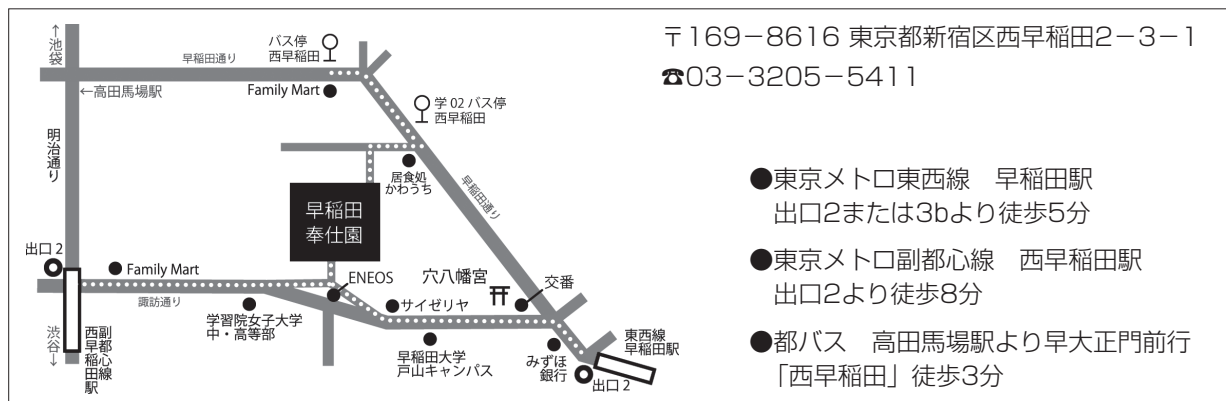
★奥愛美(ピアノ) 桐朋学園大学ピアノ専攻卒業。特別レッスンにてブルーノ・リグット、パスカル・ドヴァイヨン、練木繁夫各氏から指導。NPO法人若手演奏家協会主催「親子のためのコンサート」出演。第18回TIAA全日本作曲家コンクールソロ部門入選。

★西川真惟子(フルート) 根本フルート教室にてフルートを学ぶ。第6回あおい音楽コンクールフルート部門高校生の部第3位受賞。

## 「第2回 新しい詩の声」授賞式

最優秀賞 岡本直美「ひとつ」

優秀賞 福本恵子「おにのかぞえかた」 三好郁子「熊」 山田裕樹「ふるさと」



例会担当理事 谷口典子